

公務員は

オワコンなのか？



-ローカルから届ける公務員のリアル-

開催日時

2025 **6.21** 土
13:30 ▶ 17:00

場所

京丹波町役場2階
大会議室

参加対象

現役公務員、自治体職員志望の
学生、自治体関係者など

- 参加無料
- 事前申込制

共感と参加を生む、新しい公務員像とは？

デザイン思考で描く、地域とともに生きるキャリアの未来。
“働き甲斐” “地域” “キャリア”をキーワードに未来を再構築。

第1部 基調講演



京丹波町政策アドバイザー
佐藤晋太郎



飛騨市役所 総合政策課
上田昌子

第2部 トーク セッション

Part1

「30～40代 から見る“今”の公務員」



飛騨市役所
上田昌子



福知山市役所 ふるさと応援課
倉寿和



京丹波町役場 商工観光課
Kyotamba Innovation Labメンバー
奥田康平

Part2

「Z世代 から見る“未来”の公務員」



福知山市役所 社会福祉課
秋山蒼



京丹波町役場 企画情報課
谷口莉花



森の京都DMO
Kyotamba Innovation Labメンバー
篠塚啓汰

【第1部】基調講演 (13:30～14:30)

- ① 佐藤晋太郎 氏 (京丹波町政策アドバイザー)
テーマ「地方創生とキャリアの交差点—国家公務員からローカルへ」
- ② 上田昌子 氏 (飛騨市役所 総合政策課)
テーマ「地域のファンを増やす！飛騨市役所としての仕事」

【第2部】トークセッション (14:40～15:45)

- パート① 「30～40代から見る“今”の公務員」
- ・30～40代現役公務員が登場
 - ・業務のリアル・葛藤・やりがい・地域への想いを語る
- パート② (15:15～15:45) 「Z世代から見る“未来”の公務員」
- ・若手職員、地域プレイヤーが登場
 - ・“安定”だけじゃない、これからの公務員像

【第3部】交流会 (16:00～17:00)

登壇者・参加者が自由に語り合うカジュアルな交流の場。



メンバー紹介



講師

佐藤 晋太郎 (経済産業省職員)
京丹波町政策アドバイザー

パネルディスカッション第1部ファシリテーター

2013年、経済産業省入省。再エネFIT制度改正、官民ファンドクールジャパン機構の投資による海外展開支援、都市部人材の地方就職を支援する「まちの人事部」政策の立ち上げ、中小企業のコロナ禍の事業継続を支える各種給付金制度等を担当。2022年から石川県庁へ出向し産業政策課長に就任。能登半島地震を受け、2024年4月より新設の創造的復興推進課長に転任。県の創造的復興プランの策定・推進や、地域の活動を支える中間支援組織の立ち上げ等に携わる。2022年から京都府京丹波町の政策アドバイザーを兼業。米国コーネル大学地域科学修士修了。



講師

上田 昌子 飛騨市役所 総合政策課

パネルディスカッション第1部パネラー

飛騨市古川町生まれ。大学卒業後、飛騨市役所に入庁。2017年「飛騨市ファンクラブ」、2020年「ヒダスケ!」の立ち上げ・運営を担当、関わりたくなる地域づくりやコミュニティづくりを探究している。これまでに介護保険、地域振興、ふるさと納税、企業連携、広報プロモーションを担当し、さまざまな切り口から地域の宝物や資源を掘り起こし、地域のファンを増やす取り組みに力を入れている。また、山口大学、大阪大学、京都府立大学などのメンバーで構成する「未来のコミュニティ研究室」(FCL)では、関係人口創出のメカニズムや地域活力、地域愛着について、地域内外の人を巻き込みながら探究や実践を行っている。

倉 寿和 福知山市役所 ふるさと応援課

パネルディスカッション第1部パネラー

長岡京市出身。大学の講義で福知山市に関わった縁から2017年に福知山市役所に就職。地籍調査や大学連携、(一財)地域活性化センター研修派遣、自治協働等の業務を経て、現在はふるさと納税、シティプロモーションに携わる。福知山青年会議所に所属するなどプライベートでも地域で活動している。趣味は写真、野球観戦、競馬観戦。



奥田 康平 京丹波町役場商工観光課
Kyotamba Innovation Labメンバー

パネルディスカッション第1部パネラー

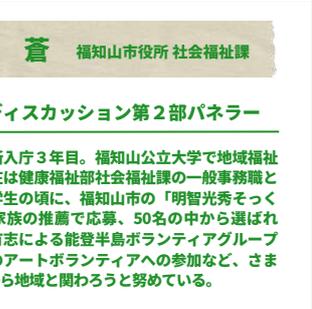
京丹波町生まれ。大学卒業後、NPO法人に就職。退職後2013年に京丹波町役場に入庁。入庁後社会教育、土木事務、契約事務等幅広い行政事務を経験。2025年から現職。依頼された仕事は断らないをモットーに日々公務に従事する。休日には、野球の指導者として地元中学生クラブチームでコーチをしている。



秋山 蒼 福知山市役所 社会福祉課

パネルディスカッション第2部パネラー

福知山市役所入庁3年目。福知山公立大学で地域福祉を学び、現在は健康福祉部社会福祉課の一般事務職として勤務。学生の頃に、福知山市の「明智光秀そっくりさん」に家族の推薦で応募、50名の中から選ばれた。市職員有志による能登半島ボランティアグループや地域団体のアートボランティアへの参加など、さまざまな角度から地域と関わろうと努めている。



谷口 莉花 京丹波町役場 企画情報課

パネルディスカッション第2部パネラー

京丹波町生まれ、京丹波町育ち。2024年に京丹波町役場入庁。自治体広報誌「広報京丹波」の制作、町の自主放送番組のキャスターやテロップ編集などを担当。住民さんにとって親しみやすく温かい広報誌づくりに励む。



篠塚 啓汰 森の京都DMO
Kyotamba Innovation Labメンバー

パネルディスカッション第2部パネラー

京丹波町出身。2021年京丹波町役場入庁。入庁後は町広報を担当し、2022年にプロモーション戦略室に異動。タウンプロモーション戦略の策定や店舗型ふるさと納税導入、京丹波栗のブランディングムービーの制作など多くの新規事業立案を経験。2025年に森の京都DMOへ出向。趣味はサッカー。



一瀬 紳司 京丹波町役場 商工観光課

パネルディスカッション第2部ファシリテーター

2013年京丹波町役場入庁。2017年より経済産業省出向。京丹波町役場帰任後は、コロナ禍での中小企業支援を担当。2022年にプロモーション戦略室に異動し、タウンプロモーション戦略策定、ふるさと納税、特産品ブランディング、関係人口施策、人材採用広報等を担当。2024年からは観光係長を兼務。ファイナンス目録、企画目録、事業目録と多面的にまちづくりに関わる。



お申込はこちらのコードからどうぞ



こんな方におすすめ

- ✓ 地方で光るキャリアを描きたい
- ✓ 地方公務員のリアルを知りたい
- ✓ 共感で人を動かす仕事がしたい

申込み締切なし
当日までOK!